

科目名	デザイン演習2								年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科	1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	長田美穂				教員の実務経験		有	実務経験の職種		学術博士
【科目の目的】										
この授業は、演習台紙を使用し、実際に知識から、作品に生かすことによって身に付けていく授業。 色相による、作品への・効果・色彩情報・色彩設定に不可欠な色彩の基礎知識を体験的に学習。 色彩検定、カラーコーディネート検定への応用も行い、検定へもつながる授業となる。										
【科目の概要】										
色の3属性（色相・明度・彩度）を使ったトーンを理解し、自分のイメージが表現でき、他者にも伝わる様表現する。色がもたらす意味、効果について学習し、色彩計画に不可欠な色彩の基礎を、実習課題を通して学習する。また、色彩検定、カラーコーディネート検定にも対応できる基礎を学ぶ。										
【到達目標】										
多角的な視点から、色彩の知識を学び、興味を持って色を効果的に活用でき、応用するための方法を習得することを目的とする。 前期：色彩の基礎を学ぶ。 後期：前期授業内容に基づき、色彩の知識をもとに、それを応用、作品の生かし方を体得することにより、色彩をイメージ通りに使うことができるようにする。										
【授業の注意点】										
この授業では、テーマに合わせて計画的作業を行う事が重視される。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	PCCS色相環を理解し活用出来ている				PCCS色相環を理解している				PCCS色相環の理解が足りない	
到達目標 B	配色カードを理解し活用出来ている				配色カードを理解している				配色カードの理解が足りない	
到達目標 C	トーンについて理解している				トーンについて理解している				トーンの理解が足りない	
到達目標 D	色相・明度・彩度を理解し活用出来ている				色相・明度・彩度を理解している				色相・明度・彩度の理解が足りない	
到達目標 E	色名について理解し活用できている				色名を理解している				色名についての理解が足りない	
【教科書】										
筆記用具、ノート、PC										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デザイン演習2				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	色の効果 1			対比。同化	明度の同化	3	
					色相の同化		
2	色の効果 2			色の効果	色の効果	3	
3	錯視（無彩色）			錯視と色の見え方	ツェルナー錯視・ミュラーリヤー錯視	3	
					ポグENDORF錯視・ボンゾ錯視		
					ヴント錯視・ヘリング錯視		
4	錯視（有彩色）			錯視と色の見え方	バリアフリーの色彩設計	3	
5	カラーシンボリズム テスト			テスト	各刺激語に対する脱逸色彩	3	
6	色とイメージ 1			対比。同化	対比。同化	3	
7	色とイメージ 2			色の効果	色の効果	3	
8	衣装と化粧 1			キャラクター制作に合わせた 配色	隅取の種類	3	
9	衣装と化粧 2			キャラクター制作に合わせた 配色	舞台化粧について	3	
10	衣装と化粧 3			キャラクター制作に合わせた 配色	舞台衣装について	3	
					善と悪の表現		
11	衣装と化粧 4			キャラクター制作に合わせた 配色	年代別の作品の流行色	3	
12	売れる子ども服（コン テスト作品）			子供服をテーマにプランニ ング コンテスト形式	子供も調査	3	
					流行		
13	色の基本（目の機能）			錯視と色の見え方	風景構成法の解釈	3	
					色遊び		
14	芸術療法と色彩			芸術療法	右脳に作用する色彩	3	
					年代別の自身の色合い		
					色育		
15	まとめ			まとめ	作品生への効果的な使用法	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等